



SINCE 2005

Vol.214
monthly issue

朝日町通信

February 2023



特集 町づくりに関わると決めた日／朝日町議会議員 善田奈緒

ママは 町議会議員

ママは町議会議員

富山県朝日町議会議員

善田奈緒



スタートした町議会議員の活動とは？ 4人の子どもたちと共に作る町づくり

実際に一歩踏み出そうと思ったのは

選挙が八月だったのですが、色々なタイミングが重なっていたと思うんです。私が朝日に来てからの十年は子育てしかしていませんでした。ずっと子供が家にいる状態で順番に保育園や小学校に入って、一番下の子が三歳になり、二ヶ月後の九月に保育園に入る事が決まっていた、十年ぶりのフリー時間どうしようと考えたところだったのです。

その年の四月頃から、ちよつと友達と子育てサークルを立ち上げて動き出したタイミングでもありました。私の長男の時は一年に六十人くらい生まれていたのが今は三十人を切っているんです。十年間で半分になっています。ずっと子育てをしているので毎年の減り具合がリアルにわかるんです。この勢いで減っていったら本当に消滅するなという危機感があった、朝日町に消滅してほしくないなって。子ども達の故郷を無くしたくなかったんです。私は転々として、縁が重なって加子母に出会うことができて、故郷と思える場所ができたのですが、子ども達にも、挫折したりした時に帰って来れる場所を残してあげたいと思いました。

朝日町には女性議員がいません。そうなる

ると子育て世帯の事とか女性の悩みや思いを自分事として理解するのは難しいと思うんです。そこでサークルの若いママ友が、これじゃダメだから朝日町を変えるために選挙に出て議員になるって公言していたんですよ。だからママ友が議員になるのを私も心底応援してたんです。でも直前になってやっぱり家族計画のことを考え、今回は断念することになってしまったんです。子育て中の母親ができるタイミングですごく限られてるんです。

私は子どもが四人いて産み切ったタイミングでもあって、結局私も人任せだったなと思う、何もしないで文句言ってるだけだというのがに気付いたのです。

旦那も町の仕組みとか政策とかを変えていくには議員になるのが一番の近道だよなっていうのは前から言っていて、このママ友のことも推していて、もし私がやりたいんならいいんじゃないかって言ってくれました。

ちよつとその頃、加子母木匠塾の三十年に向けて「木匠塾史」の編集が進んでいて、私も中島紀子さんのインタビューのテープ起しを手伝っていたんですが、今の若い人に何か伝えたいことはありますかという質問に、

色々やっている人がすごく見えてきて、そういうのがうまくながつながっていけば面白いことができそうだなと思います。

まずは自分が動かないと何も始まらないと思います。

加子母の人たちの生き方暮らし方は大仕事にして、時間を見つけては子どもと山に行つて食べ物を見つれたり探したりしています。子どもが巣立つたら一人でやるのも寂しいな…。そしたら地域の子どもも集めてやるうかなと思っちゃう。住んでる人が楽しんでいないとね。

そこでの暮らしを楽しんでいるとそれが外の人から見ると魅力に見えると思うのです。全てはタイミングで、正直自分でもビックリしているくらいですけど、二度と経験できないことだと思つて、こうなつたからには楽しむしかないと思つてます。

聞き手／秦雅文

とにかくこの日本をなんとかしてくれ、もっと根性を見せろ。現実を知れ。このままじゃ日本はダメになるぞってということをして二時間半くらい語る中島紀子節を久しぶりに聞いて、加子母に育ててもらつた以上恥ずかしいことはできないぞって思つて、紀子さんの勢いのある言葉に後押しされました。

そして最終的に自分で考えて、よし選挙に出ようって決めました。

議会の感じはどうですか

二回の議会があり十年ぶりに人前でお話しさせてもらっています。議員は十人なのですが女性一人、四十代一人ということ、完全に異物ですね(笑)そもそも分かり合えないこともあります。当然のようにやっていることをそれ何故ですかって聞くと、今までやってきたからという答えが返つてきます。私ってめんどくさいだろうかと自覚している感じですよ。

選挙の時に選挙カーで回るのも気乗りしなかったのだけど、やっぱりやった方がいいという意見があつて結局やりました。夜帰ってくるのも連日九時過ぎになつてしまつて、そうしたら子どもが泣きながら「もう仕事行かないで母ちゃん」って言うんです。こんな働き方をしては子どもたちが町も嫌いになつてしまつて。将来町づくりに関わりたいという気持ちも潰れてしまつてことになる。これはいかんかと思つて。平日昼間は全力投球して夜と休日には子どもたちと過ごすと思つたのです。だから夜の懇親会はごめんなさいって断り続けているんです。



今までの夜の懇親会で情報や意見交換を

して人間関係が保たれるという仕組み自体、男性中心だからできていたことであつて、もし若いお母さんたちがどんどん入ってきたらそもそもその場が成立しなくなる。今は私一人なので場を乱しているのかもしれないけど、仕組み自体が変わつていかなければ今後もっと若い女性に町づくりに参加してもらうことができません。飲み会が大事なのもわかるけど、意見交換はそれ以外でもできるから。ちよつと理解できない世代の生き物だなんて認識して貰えばいいかなと思つて、勇気を出して飲み会には行きませんと言つて、勇気を出して和を乱しています。(笑)今までと同じことをする議会議員では何も変わつていかないうちがしています。役場の職員とも面識がなかったので、平日

の昼間は役場の委員会室に机を用意してもらつたので、そこに出勤して、なんでも聞いて情報収集して、まず役員と一緒に向き取り組んでいけるような関係を作ろうと通つているところです。

子育て世帯の支持はもらえるのでは？

選挙前は子育てサークルとか同級生のお母さん繋がりで子ども通して遊んだりしてただけど、いざ議員になるとちよつと離れていったり、ちよつと距離を置く方もいます。でも逆に積極的に話ができるようになった人もいます。選挙というものが地域の事情とか家庭の事情とかで若いお母さんたちがあまり表

立って動けないという現実をまざまざと感じました。裏方はいくらでもやるけど表立って動けないという。いろんなしがらみがあつて、特に選挙に関しては個人の自由がないのびびくりしました。そんなこと全然知らずに出てしまったから相当周りを混乱させてしまつて、ごめんなさいって感じですよ。

お母さんたちからもこんなことやりたいんだよねっていうのは聞いて、議員になるとそれがよりリアルに入ってくる気がして、やりたいんならやろうよって自信を持って背中を押せるよつになつたなと思つて。今まで見えてなかったけど、それぞれの立場で



善田奈緒
加子母歴10年。富山県朝日町在住。
2022年に朝日町議会議員選挙に当選。かしも通信富山特派員。

わが家の Pet!



番外編(柴犬親戚大集合) #30

あれは昨秋の晴れた日。
ご主人が良く言う「犬親戚」で集まったの。
みんな元気で会えてうれしかった。またみんなに会える日が楽しみ!
左から娘ここ、ゆず、母たんぼぼ、私わさび、父ごん、娘あずき、夫クマ。
みんな8匹見つかったかな??



コウノトリ

| | 2021年度 | | 2022年度 | |
|-----|--------|---|--------|---|
| | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 4月 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 5月 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 7月 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 9月 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 10月 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 11月 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 12月 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 1月 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2月 | 1 | 0 | | |
| 3月 | 0 | 1 | | |
| 計 | 2 | 3 | 5 | 1 |

(令和5年1月15日現在)

かしも通信文芸

川柳 言ひ切れるチャンス言ひ得ずして悔ゆる 丘里夕
俳句 春泥を子等ためらはず走り行く 安江素水
短歌 酒のめば酒にのまるゝ齡より遠ざかりたる淋しさのあり 安江潔

わたしもかして vol.77



タニ
は
食
い
ま
す



ぬ
む
い
...

く
ま
ご
ん



コ
ロ
ニ
...

ワ
タ
シ
デ
...



私
い
ま
す
た
ん
ぼ
ぼ
(母)

冬眠

佐野智哉の キヅキノート



息子のお絵かき帳には丸の絵がたくさん描かれています。
少し前は図形に興味があって三角形や四角形も描いていましたが、近頃は宇宙に興味があるようで太陽系の惑星の名前を歌に乗せて楽しそうに描いたり粘土で表現したりしています。
一心不乱に丸を描いている様子を見ていると、僕自身にも色や形について考える機会を与えてくれます。

70の牛飼い

「飛騨牛」の牛舎は、大きく広く見える。ところが中に入ってみると、3頭から5頭のエリアで区切ってある。水飲み場も、餌を食べる場所も、それぞれに決まっている。人間の戸建住宅のようなものだ。戸建の建売住宅が最盛期を迎えた30数年前、「隣の芝生は青い」という言葉が流行した。同じように刈りとっても大差ないように見えるが、自分の家の庭より隣の庭のほうがキレイに見える。
これは、人間だけの考え方だと思っていたが、「飛騨牛」に藁をやってみたら、牛も人間も同じだという事がわかった。
目の前に一番美味しそうな藁をもらっても、隣のエサ場に入った藁を食べようとする。首を伸ばして隣の藁を食うより、目の前の美味そうな藁を食ったほうが良い気がするが、違う。
まあ、私達人間と同じだ。隣の芝生が青く見える。しかし、人生70年も過ぎてくると、「人生あざなえる縄のごとし」ということも少しは分かってくる。いい事もあるが、次には悪いことが待っている。今が悪いと思っても次には良い事が来ます。中切 治



母から聞いた昔話を 梨風に変えてみたら...

両親そろって子育てをしてくださった事、年をとってみると有り難い。私は末っ子だったので、大きくなるまで母の側でひっついて寝て、コタツが遠いから母のぬくとみで乳のもらい飲みをした。「昔話をしておくれ。」と言うと、いつも決まって「昔昔あるところに、お爺さんとお婆さんがおりました。お爺さんは山に芝刈りに…」と始まった。「わかった、わかった。お婆さんは川に洗濯に。すると桃が流れてきて、ドンブラッコッコシュッコッコ、ドンブラッコッコシュッコッコ…」そう言う頃にはもう夢の中。これが親子の愛情の基になっていると思います。今、私が子供に話そうとしたら、桃の中から男の子が生まれたのではなく、「大きな桃の種を土にいけていたら芽を出し、3年で桃になった。近所の子供達にやったら、ほっぺの赤い子供が大勢育ち「桃太郎」や「桃子」と名付けられ幸福村になったとき」

編集後記

編集長 / 秦雅文

特集で富山の善田さんとビデオ通話でインタビューをしたのだが、一步踏み出した人しか見えない景色を彼女は見ているんだと感じた。自分ももう少し頑張らなきゃと思うと同時に少し勇気をもらえた気がした。

文句ばかり言って人任せにしているはいけないと改めて自分に言い聞かせた。

先日、東京へ用事があって行った折、白井圭さん、市さんと会うことができた。いつもは東京へ演奏を聴きに行っても挨拶程度だったがその日はクラシックコンサートの打ち合わせをしようということになり恵比寿駅で待ち合わせをした。

最初は渋谷で飲むはずだったが、あまりの人の多さに恵比寿に変更した。途中から白井さんの奥さんも加わり4人でクラコンの打ち合わせという名の飲み会が始まった。東京でゆっくりと会うのは初めてで新鮮な感じがした。一応今年やりたい曲などは大まかに決まった。コロナ禍に翻弄されてきたここ数年のクラコンだがそろそろ打ち破って行きたいものだ。「何もしないで健康でいるより、3日でもいいから楽しいことをしたい。」という白井圭さんの言葉に同感していた。

かしも食堂

昔から伝わる絶品料理を紹介！
食には文化があらわれる。



煮込み

年取りの汁を私は「こくしょ」と言っていた。「煮込みの事？」と話に花が咲きました。加子母の上の地区は、お正月の煮込みは、大根、ゴボウ、人参、里芋、きのこ、田作り、昆布の七種類を入れて作っていたそうです。家庭ごとに煮込み違い、おもしろい。切り方、形も違い楽しい。節分の時も豆入れた煮込みがあったそうです。色々な野菜室、食材が入りコトコトした鍋物は絶品だ。寒い冬は、根の野菜で心も体も暖かまりたいです。年配の方に煮込みの話を一杯聞きたいです。

お正月の煮込み 材料

大根、
人参、
ゴボウ、
里芋、
切り昆布、
干し椎茸、
田作り

作り方

- ①野菜を乱切りにする。
 - ②大根、人参、ゴボウ、干し椎茸を入れて煮る。里芋を入れて煮る。
 - ③田作り、切り根布を入れて醤油で味を整える。
- ★コツ
長く煮るので、味は薄めにする。
- ★2日目は豆腐、油揚げなど加えていただくと楽しい



絵手紙：加子母公民館絵手紙教室協力
加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井やよい ☎ 0573-79-2627

小郷 けいちゃんの こざと

お持ち帰りも好評です！

Tel: 79-3618
(サブロクジュウハチ)
定休日 月・火曜日



ニワデン

(一財) 岐阜県消防設備協会 会員

消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の
訪問販売にご注意を！

Tel. 79-2285



かしも通信
2023年1月25日発行 No.214

Publisher Hara Yuumi
Editor in Chief Hata Masafumi
Deputy Editor Honma Kiyoko
Editors Tanaka Hiroko
Sato Yoko
Sano Tomoya
Fukui Yayoi
Susaki Yusa
Fukui Rie
Taguchi Sachiko
Correspondent Zenda Nao
Illustrator Honma Kiyoko



かしもっ子だよ全員集合！



中 ビニールハウスの整備をしました



保 こども新年会



小 集中して取り組んだ書き初め大会

中 学校 ▶ 昨年10月、中津川市政70周年記念事業を活用して、中学校西側のビニールハウスを整備しました。花のアドバイザー熊崎勝彦さんの指導で、生徒みんなで力を合わせ、ビニールを張替えました。これまで加子母で営まれてきた、村をあげての「花づくり」の文化を、中学校として支えたいという思いから、ビニールハウスの整備をしました。このビニールハウスを加子母の花づくりの拠点の一つとして、地域の皆さんと共に、加子母の花づくりを盛り上げたいと考えています。この度、そのビニールハウスの愛称が決まりました。その名は『花チュ〜舎』。この名付け親は、中学校2年生安江璃世さんです。この名前には次のような想いが込められています。『花チュ〜』は、加子母中の略称「加中」と「花(か)」を掛けています。『舎』は、校舎とか、建物の意味です。また「カチューシャ」という音の響きは、髪飾りのカチューシャから来ています。カチューシャは、付けた人に彩りをもたらしてくれます。『花チュ〜舎』で育てた花々が、加子母中にも、加子母地区にも、彩りをもたらしてくれたらと思ってこんな名前を考えました。『花チュ〜舎』から、美しい花々を、地域いっばいに運べるように、全校生徒一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

小 学校 ▶ 1月11日(水)に全校で書き初め大会を行いました。1、2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で、1年生「なかよし」、2年生「元気にあいさつ」、3年生「友だち」、4年生「明るい心」、5年生「新しい風」、6年生「将来の夢」という課題に挑戦しました。

3年生以上の学年には、4名の地域の講師の先生にお越しいただき、指導をしていただきました。筆の持ち方、文字のバランス、「とめ・はね・はらい」などの筆づかい、名前の書き方など、一人一人にアドバイスしていただいたおかげで、みんなが集中して取り組み、その子らしい作品を仕上げることができました。講師の先生方からは、「素直で前向きにアドバイスを求めて練習する子がいて、素晴らしかったです。」「子供たちと関わり、よい時間を過ごすことができました。」など、感想を伺うことができました。

日常生活の中で文字を書く場面はたくさんありますが、書き初め大会を通して、集中して気持ちを整えて書くことで、自分と向き合うことができました。

保 育園 ▶ 2023年の年が明けました。本年もどうぞよろしくお願い致します。

加子母らしい寒い日が続きますが、毎日子ども達が元気に登園出来ることが何より嬉しいです。この学年も後3ヶ月です。年取りをして一つ大きくなった皆は進級進学に向けて過ごしていきます。楽しい三か月になりますように。写真はこども新年会にて保育士のマジックショーの一場面です。新年会は他に獅子舞、羽根つき遊び、二人羽織等、どれも面白くて不思議で目が離せない子ども達でした。今年も皆が楽しく園生活を送れるよう、感染症が早く終息するように水無神社に初詣に行き手を合わせてきました。

乳幼児 ▶ 加子母・付知子育て支援センターくるりんぱ感染症拡大防止対応の「くるりんぱ開放日」を設けています。



2月の行事予定

【お願い】現在、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベント等が中止や延期、規模を縮小しての開催になっています。下記予定も変更等される場合がありますので、ご承知おきください。

| | | |
|----|---|--|
| 1 | 水 | 【中学校】あいさつ運動 |
| 2 | 木 | |
| 3 | 金 | 【保育園】節分 |
| 4 | 土 | |
| 5 | 日 | |
| 6 | 月 | 【保育園】身体測定 |
| 7 | 火 | 【保育園】歯科検診 【中学校】学校保健安全委員会 |
| 8 | 水 | 【保育園】参観日・懇談会・むすび座観劇 |
| 9 | 木 | 【保育園】避難訓練 |
| 10 | 金 | 【中学校】立志式 【中学校】学年懇談会 |
| 11 | 土 | 建国記念の日 |
| 12 | 日 | 有害・大型ごみ(9~13) |
| 13 | 月 | |
| 14 | 火 | 行政相談(13:30~) |
| 15 | 水 | 【中学校】勉強がんばり週間 【中学校】3年生思春期教室(助産師さん講師) |
| 16 | 木 | 【保育園】誕生日会 |
| 17 | 金 | |
| 18 | 土 | |
| 19 | 日 | 不燃・資源・硬質ごみ(16~17) |
| 20 | 月 | 【小学校】家庭学習がんばり週間(~24日) |
| 21 | 火 | 1歳6か月児健診(午後)~福岡会場 住民税・所得税確定受付~加子母公民館 【中学校】中間まとめ会 |
| 22 | 水 | 住民税・所得税確定受付~加子母公民館 区長会(14~) 【保育園】ALT訪問 |
| 23 | 木 | 天皇誕生日 |
| 24 | 金 | 3か月児健診(午後)~福岡会場 住民税・所得税確定受付~加子母公民館 【保育園】新入園児説明会 |
| 25 | 土 | |
| 26 | 日 | |
| 27 | 月 | 【小学校】授業参観・学級懇談会 |
| 28 | 火 | 人権相談(13:30~) |

空気が乾燥し、火災が起りやすい状態が続いています。火の取り扱いには充分注意しましょう。



こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

高校生バス通学補助金の申請はお済ですか？

中津川市では、高校生のバス通学への補助金制度を実施しています。令和4年度分の手続きがお済みでない方は、お早めにお申し込みください。

◆対象:高校へのバス通学定期券(現金・回数券等は不可)

◆申込期限:令和5年3月17日(金)

◆学生証の写し、定期券の写し(定期券に金額の記載がない場合は領収証)、振込口座の写しをお持ち下さい。

◆問合先:定住推進課、加子母総合事務所

市・県民税申告の受付が始まります

市・県民税申告の受付を2月6日(月)から3月15日(水)まで行います。**加子母地区での住民税と所得税の申告受付は2月21日(火)・2月22日(水)・2月24日(金)の3日間**です。

※土曜・日曜・祝日の受付はありません。

【加子母地区日程など】

・①2/21(火)角領・万賀・下桑原 ②2/22(水)中桑原・上桑原・中切 ③2/24(金)番田・二渡・小和知・小郷

・場 所:加子母公民館(ささゆり会館)1階第一研修室

・受付時間:午前(9:00~12:00)・午後(13:00~16:00)

・持ち物等:広報なかつがわ2月号の20・21ページをご確認頂き、必要な書類は整理をしてお持ち下さい。

申告会場は混雑する場合がありますので、時間に余裕を持ってお越しください。

行政相談のご案内 ~ 困ったら 一人で悩まず 行政相談 ~

「困りごとがあるが、どこに相談してよいかわからない」「役所が対応してくれない」「高齢者や障害者への配慮に欠けている」など、役所の仕事に関する苦情、意見・要望や行政に関して分からないことなどはありませんか?そのような時に役に立つのが、総務省の「行政相談」です。行政相談は、国や国が関わっている都道府県・市町村などの業務に関する苦情、意見・要望などを幅広く受け付け、担当する行政機関とは異なる立場から、必要に応じて、関係行政機関に斡旋を行います。そして、その解決や実現の促進を図るとともに、行政の制度・運営の改善に活かす仕組みです。相談は無料で秘密は固く守られます。

加子母地区の行政相談 偶数月の第2火曜日(祝日等の関係で変更有)

2月行政相談 2月14日(火) 13時30分~15時30分 加子母公民館

行政相談委員 星島(ほしじま)光雅(こうが)さん

出来上がったマイナンバーカードは郵送で受け取ることができます

マイナンバーカードの申請手続きを行ったあと、出来上がると「マイナンバーカード交付通知書・電子証明書発行通知書」というハガキが送付されます。ハガキが届いた方は出来上がったマイナンバーカードを郵送で受け取るための申請を加子母総合事務所で行うことができます。必要な物はハガキに記載されていますが不明な点等ありましたら加子母総合事務所へご連絡ください。 ☎0573-79-2111

加子母の人口と世帯数(令和5年1月1日現在) 世帯数:956世帯 男:1,232人 女:1,279人 計:2,511人